

地元出版・亜璃西社プロデュース

# 著者たちの駅前文化祭

## 2009

創業21年目を迎えた北海道の出版社・亜璃西社が、今年最大の自社イベント「著者たちの駅前文化祭 2009」を開催。第1回目となる今回は、小社の出版物を支える著者の皆さんにご登場いただき、ちょっとディープなトークショーを行ないます。

北海道近代史のエキスパートや、200を越える著作を持つ哲学者、さらには新潮文庫で大ヒットを飛ばす南極料理人などなど、個性豊かな面々が勢ぞろい。おもしろくてタメになる話を披露していただきます。本好きへ贈る“大人のための文化祭”にご期待ください。

2009年11月29日(日) 13:00~16:00

紀伊國屋書店札幌本店

(札幌市中央区北5条西5丁目7番地 Sapporo55ビル1階 インナーガーデン)

入場無料(会場へ直接お越し下さい)

### 第一部 トークショー「知られざる北海道史の発掘」

◇出演：桑原真人、成田智志

時間◆13:00~14:00



ベストセラー『北海道の歴史がわかる本』の著者で、北海道近代史のエキスパートでもある桑原真人さん(札幌大学教授)と、今月発売されたばかりの歴史小説『監獄ベースボール~知られざる北の野球史』の著者・成田智志さんが登場。北海道の近代史に精通したお2人が、隠された北海道史発掘の喜びや苦労を語り合います。

### 第二部 トークショー「北海道で書き続けるということ」

◇出演：鷺田小彌太、西村淳、和田由美

時間◆14:30~16:00



力作『なぜ、北海道はミステリー作家の宝庫なのか?』を始め200冊余りの著作を持つ哲学者の鷺田小彌太さん(札幌大学教授)、大ヒット中の映画「南極料理人」の原作者で『南極料理人の悪ガキ読本』の著者・西村淳さん、そして『さっぽろ喫茶店グラフィティ』など地元の風俗を記録する小社代表のエッセイスト・和田由美――。

出自も経歴も異なる3人の共通点は、北海道に生まれ、そこで書き続けていること。そんな面々が、北海道で書き続けることへの思いとその現実を語り合います。

お問い合わせ：亜璃西社(ありすしゃ) TEL 011-221-5396

## ◆桑原 真人 (くわばら・まさと)

1943年、愛媛県生まれ。北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。北海道開拓記念館学芸部研究職員を経て、現・札幌大学経済学部教授。主にアイヌ史や明治維新以降の北海道の歴史を研究するほか、経済学博士の立場から、北海道の分県運動も研究する。著書に『近代北海道史研究序説』(北海道大学図書刊行会)、『アイヌ民族の歴史と文化—教育指導の手引き』(共著、山川出版社)、『北海道の歴史』(共著、山川出版社)、『北海道の歴史〈下〉』(共著、北海道新聞社)など。

## ◆成田 智志 (なりた・さとし)

1963年、北海道千歳市生まれ。江別市で育つ。北海学園大学法学部法律学科卒業。札幌学院大学人文学部英語英米文学科卒業。北海道教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。地域の文芸誌に随想・随筆を寄稿するなど執筆活動を続けてきた。長編小説は本書が初となる。江別市在住。

## ◆西村 淳 (にしむら・じゅん)

1952年、北海道留萌市生まれ。網走南ヶ丘高校卒業後、巡視船勤務の海上保安官となる。1989年、1996年に南極観測隊員としてそれぞれ1年間南極へ赴く。2004年、その体験を綴った『面白南極料理人』(新潮文庫)がベストセラーに。その後も著作を次々に発表。2009年3月に海上保安庁を退職し、北海道を拠点に執筆・料理・イベントプロデュースなどの活動をスタート。『面白南極料理人』は、「南極料理人」のタイトルで映画化され、2009年8月に全国公開。大ヒットを記録し、現在もロングラン中。

## ◆鷺田 小彌太 (わしだ・こやた)

1942年北海道札幌市生まれ。大阪大学文学部哲学科卒業。大阪大学大学院博士課程修了。津市立三重短期大学教授を経て、現・札幌大学教授。哲学・倫理学の教鞭をとる傍ら、評論活動、エッセイ・人生書等の執筆でも活躍。著作は200冊を越える。著書に『新大学教授になる方法』(ダイヤモンド社)、『日本を創った思想家たち』(PHP新書)、『「佐伯泰英」大研究』(日経ビジネス文庫)、『定年後に1から始めて一流学者になる方法』(青春出版社)、『夕張問題』(祥伝社新書)、『坂本竜馬の野望』(PHP研究所)など。

## ◆和田 由美 (わだ・ゆみ)

1949年北海道小樽市生まれ。藤女子短期大学英文科卒業。タウン誌「ステージガイド札幌」編集長を経て、ベストセラー『さっぽろ青春街図』を編集者として世に送り出す。1988年、亜璃西社を設立して代表取締役となる。その傍ら、各紙誌に連載を持つエッセイストとしても活躍。著書に『北海道 究極の食材めぐり』(JTBパブリッシング)、『こだわりのロングセラー』(共同文化社)、『日曜日のカレー』『さっぽろ喫茶店グラフィティー』『さっぽろ酒場グラフィティー』(以上、亜璃西社)など。